

国産木材の利活用でSDGsに貢献を

8月11日、設計者である菅原設計（鶴岡市）の菅原所長ほか関係者とともに、「三川町立東郷小学校」を見学させて頂きました。



平成16年完成の完全無垢材を用いた木造の学校で、土台の岐阜県産ヒノキ材以外はほぼ地元のスギ材、曲がった木も無駄なく利用、身体にも環境にもやさしい耐用年数の長い校舎です。完成から20年近くたった今も全く古さを感じません。

平成19年にはNPO木の建築フォーラム主催の木の建築賞で、最高賞の「木の建築大賞」を受賞するなど、高い評価を受けています。

風が通りやすい窓の配置、直射日光を避ける広いテラス、床下の空気（夏は外気温より低く冬は高い）を利用した高効率の全館床下暖房方式等、様々な工夫が凝らされています。

また、校舎のメンテナンス（外壁塗装）を保護者や地元の方が担われているとのことで、木の温もりだけでなく地域の温かさにも見守られた教育環境は大変素晴らしいと感じました。

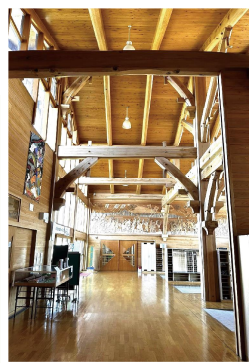
我が国は国土の3分の2を森林が占め、戦後に造林したスギを中心とした木材の多くが伐期を迎えており、国産材の供給余力は増加しています。

その反面、住宅需要の低迷

に加え、梁等の横架材を中心に国産材利用率が依然低いこと、ツーバイフォー工法の国産材率は1割にも満たないこと、等を背景に、国産材の需要が伸び悩み、価格が低迷しており、山元の経営を圧迫しています。

また、本来、搬出することが原則である間伐材がそのまま放置されている事例や、主伐後の再造林が適切に行われていない事例も見受けられるなど、持続可能な林業が危機に瀕しています。

鉄骨等の資材価格が高騰している今こそ、農業用ハウスや畜舎、木質サッシの推進を含めた住宅、公共建築物等への木材利用を加速させ、森林資源の有効活用により持続可能で地球温暖化防止に寄与する林業への転換を図るよう、政府へ働きかけていきます。



参議院議員(山形県選挙区)

舟山やすえレポート

www.y-funayama.jp



FUNAYAMA YASUE REPORT

発行元：舟山やすえ事務所

〒990-0039
山形県山形市香澄町3丁目2番1号
山交ビル8階
TEL：023-627-2780
FAX：023-674-0278

2023年 Vol.39
秋号



※国民生活を守る！食料を守る！



4ヶ月間もの政治空白後、10月20日ようやく第212回臨時国会が始まりました。岸田総理は、6月の通常国会終盤以来、解散カードをちらつかせ続けていますが、ウクライナに続き中東情勢も緊迫化し、国民生活への影響拡大が懸念される中、総理が考えるべきは、「いつなら選挙が与党に有利か」ではなく、「今実行すべき政策は何か」です。

総理からは、9月25日の会見で「10月中に経済対策を取りまとめる」との言及がありましたが、最近発表された各種統計を見ると、企業倒産件数の大幅増や消費の冷え込み、実質賃金の低下が顕著になっています。こうした厳しい企業や家計を取り巻く経済状況に対処するためにも、もっと早く国会を開き、幅広い声を聞き、一刻も早い経済対策とそれを裏付ける補正予算の編成を行うべきでした。

一国のリーダーとして、現状認識があまりに甘く、対策があまりに遅いと言わざるを得ません。

私たち国民民主党は、持続的な賃上げ実現と国民の暮らしを守るため、10月11日、「生活減税」(①所得税、②ガソリン税、③消費税、④法人税、それぞれの減税)等を柱とした、『「国民に直接届く」緊急経済対策』を取りまとめ、公表しました。

今後、政府の経済対策や補正予算に反映させるよう、強く働きかけて参ります。

今年は、「過去126年で一番暑い夏」となり、9月になってもさらに記録的な猛暑が続くなど、まさに「異常気象」となりました。6月から7月上旬までは、温暖化の影響か、極端な大雨の発生頻度が増加し、線状降水帯も各地で観測され、豪雨災害も多発しました。ところが、梅雨明け以降は一転、各地で少雨が続き、干ばつに悩まされる事態となりました。

夏の高温と水不足の影響で、県内でも庄内地方を中心に、米の品質低下や収量減少に見舞われており、供給量の減少が懸念されています。加えて、野菜や果樹など秋の味覚も同様に、日焼け等により品質が低下しているだけでなく、生産量の減少により出荷量が少なく、軒並み高値となるなど、農家や消費者に大きな混乱を及ぼしています。

また、水温上昇による影響だけでなく、中国による水産物の輸入禁止措置も加わり、ホタテを中心に水産業の現場にも大きな影響が出ています。

現在、食料安全保障の強化に向け、不測時に政府が増産等を要請・指示できるようにすることを内容とする法制化の議論が進んでいるようですが、農家経済の悪化で農家戸数も農地面積も減少の一途をたどっている中、真っ先に必要なのは、生産基盤となる農地の維持・確保です。

国民民主党は、農地の維持に対する「食料安全保障基礎支払」の創設を提案しており、臨時国会においても、平時からの食料自給率を高める議論と並行して、政府に実現を迫って参ります。



県立新庄病院開院・内覧会



酒田のラーメンexpo2023



小国町高齢者体育大会



朝日町ワインまつり
(桃色ウサヒと)



元祖芋煮会(中山町)



遊びと学びの交流施設
「くると」竣工式(長井市)



山形県税理士政治連盟
定期大会・懇親会



最上小国川流水型ダム視察
(最上町)



里芋出荷作業を見学
(真室川町)



国有林道 豪雨災害現場視察
(舟形町)



尾花沢牛肉まつり



庄内町後援会国政報告会



9/4～9 参議院議長とベトナム・シンガポール公式訪問

尾辻参議院議長を団長に、参議院各会派の代表を構成員とする訪問団の一員として、ベトナム及びシンガポールへの公式訪問を行いました。

今回の訪問は先方政府からの公式招待によるもので、両国ともに国会での歓迎式典や国会議長との公式会談に臨みました。



ベトナム トゥオン国家主席と



シンガポール
パシルパンジャン港を視察

併せて、ベトナムにおいては両国議長による国会前庭への植樹式や、国家主席ほか両国の友好議員連盟所属議員との公式会談、技能実習生の送り出し機関や日本人学校への訪問、日本への留学経験者との意見交換等を行い、シンガポールにおいては、両国の友好議員連盟所属議員との会談や貿易港として栄える港の視察等を行いました。

両国とも初めての訪問でしたが、食や文化、国民性などについて親近感を感じる場面がたくさんあり、改めて「アジア」の一員であることを実感。今後の連携強化を図るためにも、今回のような議員外交を含め、様々な分野での一層の交流による相互理解の必要性を強く感じました。

8/31 米坂線整備促進期成同盟会総会

新潟県関川村で開催された米坂線整備促進期成同盟会総会に、顧問として参加しました。

昨年の第36回開催までは、利便性向上が中心の課題でしたが、直後の8月3、4日の豪雨による橋や線路の崩落で、今泉⇄坂町間が不通になり復旧の目処が立たず、「廃線」の危機感が強まる中、当会の位置付けは大きく変化しました。

川西町のNPO法人「えき・まち・ネットこまつ」や賛同する高校生が署名活動を行っているほか、飯豊町でもイベント等を通じて復旧の機運を高める活動を行うなど、各地で様々な取り組みが行われていますが、当会として自治体横断的に意見を集約し、具体的な取り組みや提案を行うべきです。

私は、かねてから公共交通の重要性と国の責任の明確化の必要性を訴えており、3月の参議院予算委員会においても、総理と国土交通大臣に取り組み強化を強く求めました。

JRの地方ローカル線の再生には、自治体の関与と国の責任の両輪が重要であることを提言する中川大先生(富山大学副学長)の論文でも、答弁のポイントをご紹介しました。

岸田総理

- ・「地域公共交通は重要な社会基盤」
- ・「鉄道は…カーボンニュートラル実現に向け、環境面においても大きな役割」
- ・「公共交通機関を維持していくことは国としても大きな責任を担わなければならない。」
- ・「そのための予算を用意しなければならない。国としてもしっかりと拡充に向けて努力をしていきたい。」



斉藤国土交通大臣

- ・「これまでの日本における地域公共交通の支援の姿に対して我々もある意味で反省がある。」
- ・「今年度補正予算、また来年度予算で大きく、これを拡充する。」
- ・「災害でローカル鉄道が被害を受けた場合、災害復旧はしっかりとしていきたい。」

総会でも、①米坂線は単なる地域の生活の足であるばかりでなく、国全体の公共交通ネットワーク上重要な路線であることから、国による支援を強く求めるべきであること、②「公共」交通である以上、民間任せではなく国の責任が重大であり、採算性だけで議論すべきではないこと、等を指摘、当会として国やJRにしっかり要望すべきことを申し上げました。

高齢者や学生等の交通弱者の足として、SDGsに資する環境負荷の少ない交通手段として、インバウンド需要をはじめ観光客の移動手段として、公共交通の役割は増大しています。海外では路面電車の復活や路線の拡充等、公共交通機関が充実し、旅行の際の移動手段としても利便性を高めています。

公共交通のあり方は党派を超えて取り組むべき課題です。是非とも世界の潮流に逆行しないよう、皆さんで声を上げていきましょう！



第37回米坂線整備促進期成同盟会総会

9/2 国民民主党臨時党大会～玉木候補が代表に再選



代表選挙の直接投票が行われ、地方議員や一般党员・サポーターによる事前投票の結果と合わせ、玉木雄一郎候補が再び代表に選出されました。

9月7日の両院議員総会で新体制が発足、榛葉幹事長ほか、共に戦った前原議員は引き続き代表代行として留任することになり、私も引き続き参議院議員会長兼両院議員総会会長を拝命しました。

国民に寄り添う政党、政策先導型政党として、党関係者が一丸となって再スタートを果たし、10月11日には政府、各党に先駆けて「緊急経済対策」を策定・公表しました。



国民民主党「国民に直接届く」緊急経済対策

詳細はこちらで

- ◆国の税収の上振れ分を減税で納税者に直接還元し、可処分所得を増やします。
- ◆予備費、教育国債(新規創設)も財源に加え、15兆円以上規模の経済対策実行を!

生活減税 ×4本柱

物価高騰・持続的な賃上げ対策 ×4本柱

子育て・人材育成 ×4本柱

カーボン・ニュートラル等の推進 ×4本柱

地方支援 ×4本柱



8/9 やまがた政治塾「第1期」閉講式

「来たれ挑戦者!」を掲げ、全国に先駆けて昨年12月17日に開講したやまがた政治塾。無事に最終回を迎えた第4回プログラムを終了した後、閉講式を行い、延べ135人に上るこれまでの参加者のうち、皆勤賞の12名に修了証を授与しました。

「国民民主党山形県連 躍進の集い2023」に合わせて開催した今回の講師には、政治ジャーナリストの角谷浩一さんをお迎えし、「ジャーナリズムから見た国民民主党」をテーマに、政界の裏話を交えつつ、国民民主党の躍進に向けて示唆に富む貴重なお話を頂きました。



講師 角谷浩一氏



村山隆 中山町議会議員
3期目当選 <公認>



直島義友 高畠町議会議員
7期目当選 <推薦>

横山愛 天童市議会議員
初当選 <公認>



片桐勝寿 東根市議会議員
3期目当選 <推薦>



鈴木由美子 尾花沢市議会議員
2期目当選 <推薦>



竹俣朋 山辺町議会議員
2期目当選 <推薦>

国民民主党の輪が
県内各地で拡大中!